

第3学年1組 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：「呉市の未来を考える」～呉に住み続けるためには～

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・協働性】

指導者 波田 勇太

日時 令和4年10月31日（月）6校時
場所 体育館
学年 第3学年（男子17名 女子24名 計41名）

単元について

○単元観

本単元は、本質的な問い「わたしたちは、どのように地域と関わりながら生きるか。」を基に構想した。「呉市が抱えている課題」について意見を出し合い、インターネットで調べることやこれまでに総合的な学習の時間で学習した内容を踏まえて、「呉市の未来」について「わたしたちなりの考え」という視点から、自らの課題を設定し、解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・協調性】を育成することをねらいとしている。

本校では、1年次に「ものづくり」を探究課題に設定し、呉の産業である造船についての学習をしたり、広島県の産業としてもものづくりフェスタに参加して、ものづくりの面白さや必要性について学習したりしている。2年次には「ひとつづくり～ピンチをチャンスに～」を探究課題とし、職場インタビュー学習を通して、働くことの意味や働く人の夢や願いを知り、私たちに求められているものについて深く考えることができた。

本単元では、社会科で学習した少子高齢化社会の現状を通して、生徒が、少子高齢化の課題が呉市でも深刻になっていることやその対策について自分たちなりに考え方をもてるように展開していく。また、呉市では「誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち『くれ』」を令和12年度末における呉市の都市像としている。実現に向けて、呉市が取り組む政策を8つの分野に分類し、それぞれの政策分野で令和12年度末までに実現する「目指すべき姿」を学習する中で押さえておきたい。これまで、1学期に修学旅行で訪れた長崎県の地域の特性を生かしたまちづくりや、SDGsの取組、2学期に校外学習で学んだ株式会社八天堂、アヲハタ株式会社では、地域貢献や地域活性化、SDGsの取組について学ぶことができた。これらの活動を通してより多様な課題を発見させることで、「呉市の活性化」をSDGsと絡ませながら考えさせ、解決するための計画、相手に分かりやすくプレゼンテーションを行うことで、相手に自分の思いを伝えるときに大切なポイントに迫らせたい。

このような学びの姿は、授業者が設定した本質的な問いを基にした研究的な学びを具現化するものであり、本中学校区で設定した資質・能力の育成につながると考える。

○生徒観

本学年の生徒は、1年次に「ものづくり」、2年次に「人づくり」について、総合的な学習の時間に学習している。生徒に「10年後、20年後に呉市に住んでいきたいか」というアンケートを行った結果、問いに対して肯定的に答えた生徒は、6%（2人／32人）であった。その理由の中には、「人口の減少が進む」「少子高齢化が進み、過疎化してしまう」という意見が多く挙がり、これからの呉市に対して心配な思いをもっていることが表れている。本単元の学習を通して、呉のよさを再発見し、これからの呉市を担っていききたい、何とか改善していききたいと思える生徒を増やしていきたい。

本単元に関わる事前アンケート

①10年後20年後に呉市に住んでいきたいか	16%
②呉の良いところが説明できる	42%
③仁方の良いところが説明できる	57%
④仁方は住みやすいところである	70%
⑤市長選挙（模擬授業）に立候補してみたい	34%

○指導観

指導に当たっては、次の点に留意する。

【探究的な学びにつながるもの・ひと・まちの活用】

1年次の「ものづくり」で学習した地域の特産という視点から仁方が日本、世界に誇れるものや、呉と世界とのつながりについて学んだ。2年次の「ひとづくり」では、職場インタビューの学習視点から「ピンチをチャンス」に変えて取り組まれていることをオンライン（Zoom）で、やすりの会社ワタオカ様に講義していただいた。3年次の「まちづくり」では、修学旅行先の長崎ハウステンボスで環境美化へどのように取り組んでいるか知ることができ、また、人と環境とのつながりについても学ぶことができた。校外学習では株式会社八天堂とアヲハタ株式会社を訪問し、自社だけでなく地域貢献や地域活性化の視点から様々な取り組みをされており、具体的な実践について学習することができた。学んだことを踏まえ、本単元で学習する「まちづくり」の視点で、総合的に呉市を活性化させる方策を考え、プレゼンテーションを行う。

【探究的な見方・考え方を働かせるための各教科等との関連】

探究的な活動を支える土台として、探究的な見方・考え方を働かせることを重視し、各教科と横断的な学習を行うとともに、効果的に関連させて単元を構成する。

まず、社会科単元「私たちと現代社会」において、少子高齢化の背景を知り、これからの日本全体でどのような影響が出るのか知識を得ておく。また、「現代の民主政治」では、政治の仕組みや自分たちの生活とのつながりを理解し、成人年齢の引き下げに伴い数年後には実際に選挙に参加することも考えさせたい。

また、国語科では、「話す」のパブリックスピーキングで、整理した情報を人に分かりやすく伝えられるように、タブレットを用いてプレゼンテーション学習を行い、「表現」する場面を設定する。今年度の入試制度の変更に伴い、「自己表現」の場の設定としても捉えていきたい。

単元の目標及び評価規準

【単元の目標】

「呉市の発展」をテーマに、問いを見だし、グループで課題を見つけて、情報を集め、整理・分析を行い、まとめ・表現する活動を通して、課題解決に主体的・協働的に取り組み、互いの意見を尊重しながら、積極的に社会に参画しようとするができる。

【評価規準】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
① 呉市の課題や他市町のまちづくりについて理解している。 ② まちがどのように変遷してきたかを捉えるための調査を、対象に応じた適切な方法で実施している。 ③ 呉市に関する問題状況と自分たちの生活との関わりについての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	① まちの変遷と調査活動とを結び付けることを通して、呉市の課題を明らかにし、解決への見通しをもって計画を立てる。 ② 必要な情報を多様な方法で収集し、種類に合わせて蓄積する。 ③ 異なる情報の共通点や差異点を見付け、関係や傾向を明らかにする。 ④ 相手や目的に応じて効果的な表現をする。	① 異なる意見を取り入れながら、さらに知りたい、調べたいと考えている。 ② 調査活動の振り返りを通して自ら設定した課題の価値に気付き、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 ③ 実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組もうとしている。

指導と評価の計画

本時は20時間目 (全20時間)

次(時)	学習内容	評価	
		評価規準(評価方法)	資質・能力
一 (5)	課題の設定 ○呉市の現状，課題について考える。(1時間) ・学習の流れの確認 ・課題予想 情報収集・整理・分析 ○前時で予想したことは正しいか検証する。(2時間) ・インターネット調べ学習 ・インタビュー学習 ・課題の分類	・「まちづくり」に着目し，課題を発見し，解決に向けての見通しをもっている。 (ワークシート，発言) ・自分の知っている呉の課題についてインターネット等で調べたことを，ワークシートやタブレットに整理している。 ・出てきた課題とSDGsの目標を見比べ，どの目標の達成に貢献できるか理解している。 (ワークシート，タブレット，発言)	知識・技能① 主体性・協働性① 知識・技能② 思考力・判断力・表現力①
	新たな課題の設定 ○課題解決のための方策を考える。(2時間) ・子育て・教育分野 ・福祉保健分野 ・市民生活・防災分野 ・文化・スポーツ・生涯学習分野 ・産業分野 ・都市基盤分野 ・環境分野 ・行政経営分野	・課題解決のための方策と達成のための手段を考えている。 (ワークシート，発言) ・インターネットを中心に情報を得て，種類に合わせて蓄積している。(ワークシート)	知識・技能③ 思考力・判断力・表現力②
二 (10)	情報収集・整理・分析 ○選んだ課題でグループ分けをして，グループの中で自分の考えた方策を交流し，グループで担当を振り分け，課題解決のための方策を絞る。(9時間) 【社会科】「選挙の意義と仕組み」 表現・実行・振り返り ○ミニ市長選挙を校内で行い，中学2年生に投票してもらおう。(1時間) 【国語科】「パブリックスピーキング」	・調べる中でインターネット以外からも情報を得ている。 (インタビュー，アンケート) ・個人で考えた方策(第5次呉市長期総合計画を参考)をグループで共有し，役割や内容について分析し，主体的に役割を決めている。(ワークシート，タブレット) ・自分たちの表現をどのように工夫すれば，思いを伝えることができるか，グループや全体で話し合い，表現に生かしている。 (ワークシート，タブレット，発言，演技)	知識・技能② 思考力・判断力・表現力② 主体性・協働性② 思考力・判断力・表現力③④

【単元を貫く課題】呉市が活性化するためにどんなことが必要だろうか。



新たな課題の設定・整理・まとめ

○前時で他者からもらった評価を基に、プレゼンテーションを改善する。(4時間)

- ・他者からの評価を基に、自分たちが考えた策と達成のための手段が分かりやすく伝わるよう修正している。
- ・他者からの評価を基に、さらに良くなるための改善を考え、自分たちのプレゼンテーションに生かそうとしている。
(ワークシート、タブレット、発言)

思考力・判断力・表現力③④

主体性・協働性③

表現・実行・振り返り

○仁方中学校区合同研修会でプレゼンテーションを行い、中学1年生、先生方に投票していただく。
【本時】(1時間)

- ・自分たちが考えた方策と達成のための手段を分かりやすくまとめ、発表している。
- ・他者からの意見・評価を踏まえ、自らの意見を適切に修正している。
(タブレット、発表)

思考力・判断力・表現力④

本時の展開

(1) 本時の目標

自分たちが考えた方策と達成のための手段を分かりやすくまとめ、発表と準備を通して、呉市の魅力を今までよりも感じるができる。

(2) 学習の展開 (第20時/全20時間)

分	学習活動	指導上の留意点	評価
	主発問：わたしたちは、どのように地域と関わりながら生きいるか。		
5	1 司会による進行 オープニング漫談	・漫談の中で本時の目標、取り組もうとしたきっかけの経緯を入れる。	
	呉市が活性化するためにどんなことが必要だろうか。		
3 2	2 4グループに分かれ、方策発表を行う。 ・発表時間6分 ・質疑応答1分×4回 ・移動 1分	・各グループの司会者が進行していく。 ・中学1年生も4グループに分けておき、評価ワークシートを配付する。 ・各グループのスタートを揃える。	
5	3 Google Formsを活用し、投票・開票を行う。	・人気投票にならないように投票の基準を提示しておく。	
	投票基準 ① 呉市の課題と解決方法が具体的に示されている。 ② 方策を聞いて、今よりも住みたいと思えるプレゼンテーションだったか。 ③ 呉市がこれから変わっていくだろうという期待がもてるプレゼンテーションだったか。		

8	<p>4 開票後、振り返りを行い、まとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ市長選挙の振り返りからも考えさせる。 ・1年生にも今回の授業を受けての感想を聞いてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考えた方策と達成のための手段を分かりやすくまとめ、発表している。 ・他者からの意見・評価を踏まえ、自らの意見を適切に修正している。 <p>【思考・判断・表現】(タブレット、発表)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市が活性化してほしいと思う。 ・呉市について知っていくと、将来、呉が衰退していくのを防ぐために、自分が呉のために貢献したい。 </div>			